

遺伝診療の活用と癌患者の生命予後についての後方視的研究

1. 研究の対象

BRACAnalysis 診断システムが保険収載された 2018 年 6 月～2020 年 12 月に BRACAnalysis 検査を受けられた方と OncoGuide TMNCC オンコパネル、FoundationOne CDx が保険収載された 2019 年 6 月から 2020 年 12 月にがんゲノムプロファイル検査を受けられた方。

2. 研究目的・方法

乳癌は女性が罹患する疾患で最も多い悪性腫瘍であり、様々な病態ごとに治療法が確立されつつあります。近年では生殖細胞系列、体細胞系列の遺伝情報を元に各患者さんごとの適切な治療へのアプローチも行えるようになってきており、遺伝診療を含めた癌治療を行う機会が増えてきています。どのような方がメリットの多い治療の恩恵を受けられていて、どういった方に遺伝診療の情報提供をしていくべきなのかを検討していきたいと考えています。

本研究は日常診療で行われている診療情報を後ろ向きに収集する研究です。本研究のために新たに行われる評価、検査、治療はありません。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

日常診療範囲内で取得する、検査データと治療内容、治療経過等です。個人情報につきましては、個人情報保護法に則り、匿名化した情報を適切に取り扱います。

4. 外部への資料・情報の提供・公表

当院の診療情報データを利用するので、外部への提供等はありません。

連絡・問い合わせ先

三菱京都病院 乳腺外科 多久和晴子

615-8087 京都市西京区桂御所町 1 番地

電話 075-381-2111(代)